



Yochu-JUMP

第4号



与那原中学校 (Y) 授業力 (J) アップ (Up) 元気 (Moxie) プロジェクト (P) R5.11.30発行

取材と称した授業参観を行っていますが、ようやく教室に来て先生方に嫌な顔されなくなった？気がしています。「ぜひこの日のこの授業観に来てください！」と声をかけてもらえるように頑張ります。

綿密な計画と準備が生み出す主体的で対話的な学び

「私はコメンテーター！」という教材の討論会を参観させていただきました。司会の進行の下、賛成派・反対派が熱く討論をするようすは、観ていてもとても楽しい授業でしたが、よくよく観察しているとかなり細かい下準備が行われていることがわかりました。

- ①制服やスマホなど、生徒が意見を出しやすい議題の設定
- ②司会・記録・アドバイザーなどの役割分担
- ③司会の細かい進行シナリオ（作戦タイム設定、論点の修正等）
- ④対話が生まれやすい座席の工夫

また、賛成派・反対派が事前に用意している原稿を覗いてみると

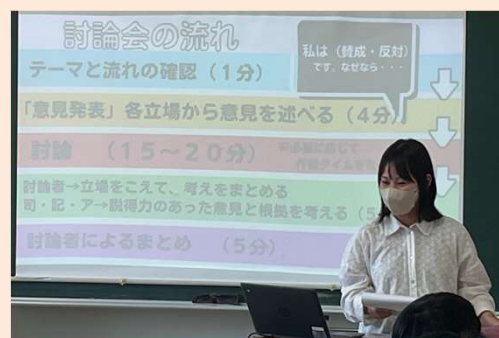
- ⑤アンケート結果などの具体的な数字を示した根拠
- ⑥予想される反論とそれに対する回答などの準備

などがしっかりできており、これが討論会本番の活気につながっていると思います。

また、意見を述べる様子を各自タブレットで撮影している理由を聞いたところ、単元まとめの授業において討論会を振り返る際に、自らの発言の様子をメタ認知できるように用意しているとのことでした。すごいですね。

本時終末の討論者のまとめにおいては「**多角的に検討し考えの幅を広げる**」というねらいが達成できたであろう生徒の姿を見ることができ、これこそ**主体的で対話的な学び**であると感じました。色々と良さを挙げさせてもらいましたが、何よりも、生徒が**楽しそうに討論する姿**が印象的でした。

国語科 小橋川 遥 先生



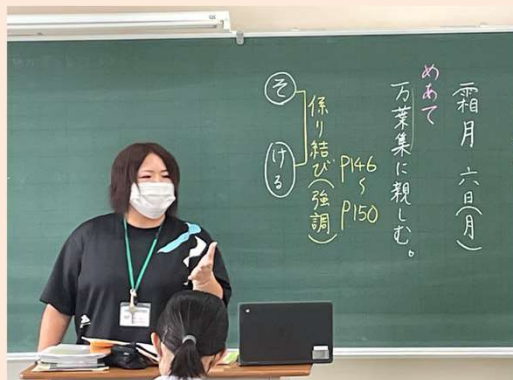
心地よく響く声で日本語の美しさを伝える

万葉集や古今和歌集などの和歌を教材とした授業を参観させていただきました。まず印象的だったのは、**心地よく響く咲子先生の声**でした。ゆっくり丁寧に、句切れなどを意識しながら優しく和歌を読み上げる声はそれぞれの作品の良さをしっかり引き出していると感じました。

教師と生徒と一緒に読み上げ → 生徒のみで読み上げという展開では、**生徒もその言葉の響きを味わう**ように、丁寧に読み上げており、「声に出して読みたい日本語」を体感できたと思います。

咲子先生は「すごいね」「ゆっくりでいいよ」「訳に注目するといいよ」など、生徒への言葉かけもとても丁寧です。教室の掲示物に力を与えてくれるメッセージをいつも紹介している、咲子先生の**言葉を大切にしている姿勢**がとても伝わる授業でした。

国語科 新里 咲子 先生



ふちっと DTK 道徳の授業で使えるような話題（歌・言葉・本など）を紹介します！



人の価値とは、その人が得たものではなく、
その人が与えたもので測られる。

アルバート・アインシュタイン／物理学者

「20世紀最大の天才」と称されたアインシュタインの言葉です。「思いやり・感謝」「友情」「公德心」「勤労」など、様々な内容項目で生かすことができそうなメッセージです。多くの富と名声を得ていた彼の言葉だからこそ、重みがあるのかもしれませんが、生徒がよく知っている偉人のあまり知られていない名言は、新鮮な印象と新しい気づきを与えてくれます。